

留萌小学校の取り組み

環境整備

明るく、きれいな校舎で子どもたちに学んでもらうため、PTAが子どもたちと一緒に校内清掃や花壇づくりの活動に取り組んでいます。

校内清掃と花壇の植栽は年2回行い、その他にも花壇の手入れなどで学校に足を運ぶ機会が増えたことで、PTAからも子どもたちとのふれあいに喜びを感じると好評です。



通学パトロール

子どもたちの登下校時の安心・安全を守るため、PTAを中心にパトロール活動に取り組んでいます。

路上や交差点での見守りのほか、車による巡回も行っており、ボランティアからの報告は、学校での指導に生かされています。また、通学パトロールを行うことで、犯罪の抑止効果も生まれ、地域の防犯にも役立っています。



「活動を通し、子どもたちが喜んでくれることがとても嬉しい」

子どもたちが、明るくきれいになった校舎や花壇に作られたキャラクターを見て喜んでくれることがとても嬉しいですね。今年はポケモンのキャラクターを作ったのですが、大変喜んでもらえました。

通学パトロール活動は、一年を通して行っています。子どもの通学時間に合わせて買い物を見守ったり、家の前を出て見守ったり、形は様々ですが無理をせ

ずに活動していることが継続につながっていると思います。

環境整備や通学パトロールに限らず、地域の皆さん、民生委員さん、図書ボランティアなど、たくさんの人たちに支えられて学校支援が成り立っていると感じます。



留萌小学校PTA
会長 室本直俊さん

—地域につくられた学校の応援団—

『留萌市学校支援地域本部事業』

学校支援地域本部事業とは、ボランティアの協力によって、地域全体で学校を支える体制を整えることを目的として、平成20年度から始まった文部科学省の委託事業です。

その体制は「地域につくられた学校の応援団」ともいえ、留萌市では留萌小学校と東光小学校が取り組んでいます。

東光小学校の取り組み

図書ボランティア

子どもたちが本に親しみ、読書への関心を高めてもらうため、8名のボランティアが毎日交代で活動しています。

図書委員の児童と一緒に本の貸し出しや整理を行い、子どもたちからも「大人が図書室にいたので、安心して本が借りられる」と好評を得ています。



「子どもたちと接する楽しさ、喜びを感じています」

図書ボランティアを通し、子どもたちと接する楽しさ、喜びを感じています。

子どもたちから、家族のことなど、図書以外の相談を受けることがあり、なんでも話せるおばさんとして、生徒とふれあえることがとても嬉しいです。

大変だと思ったことは特にありません。基本的にボランティア活動日は決まっていますが、都合の悪い日には休むことができます。

無理をしないで活動できることが5年間、ボランティアを続けていられる秘訣だと思います。

図書ボランティアとしてよりレベルアップするため、研修の機会を作りたいです。



東光小学校図書ボランティア
代表 熊澤秀子さん